

令和六年度決算審議……、

①一般会計で高いゴミ袋の使用を義務付け暮らし応援の姿勢がないこと、中央公民館建て替え問題で、住民の声を聴かないPF

I 方式の固執、②国保会計でも独自の申請減免を廃止し一般会計からの繰り入れを拒否していること、また子どもが増えると保険税が増える仕組みは子育て支援に反していること、③後期高齢者医療では制度ができる8回の掛金引き上げがあり、経過措置が切れると大幅値上げが実行されていること、④介護保険では訪問介護の報酬引き下げで事業所の経営に多大な影響があり受けられるサービスが限定されること等を指摘して反対しました。住民の暮らし応援の姿勢にもっと尽力すべきであると討論で述べました。

9月議会報告

馬見南3丁目の

旧エコセンター

6月18日壁の剥落事故が起きた旧エコセンターの補修費用として四千万円の予算がつきました。施設の包括管理をしている日本管財（株）では補修費用の上限がオーバーするため別途一般会計補正が組まれました。施設管理の在り方について現場職員の奮起を求めました。

ら香芝市が離脱する問題



は退席し表決を明らかにしませんでした。

法令ではたとえ一自治体でも反対の場合は規約変更ができない仕組みであるため今後清掃事務組合で協議が行われる見込みです。

やつお・山田の

議会レポート

発行：日本共産党広陵町議員団

2025年11・12月発行 N017

町会議員 八尾春雄 ☎0745-60-0972

snkb30217@hera.eonet.ne.jp

町会議員 山田美津代 ☎090-3972-5674

mitsuyo.yamada22@kcn.jp

名でしたが、笛井議員・吉川議員とともに反対しました。賛成は7名でした。日本共産党議員団は坂野議員・河野議員

OTC類似薬の保険外しを行わないことを求める意見書

2025年2月25日、2025（令和7）年度予算の年度内成立に向けて交わされた3党合意（自由民主党・公明党・日本維新の会）は、医療費の年4兆円以上の削減を条件としており、それに向けて3党で社会保障費削減のための協議体を設置し、2026年度からのOTC類似薬の保険適用除外を最初のテーマに掲げた。（中略）日本医師会もOTC類似薬の保険適用除外について、医療機関の受診控えによる健康被害、経済的負担の増加、薬の適正使用が難しくなることの3点をあげて強い懸念を表明した（2月13日宮川常任理事記者会見）。（中略）

難病で、医療費助成の対象疾病として月額の自己負担上限額が適用されている患者の場合は、使用しているOTC類似薬が保険適用外にされれば、難病の医療費助成制度からも外されて大幅な負担増になる。リウマチや広範囲の皮膚炎などで長期にわたりOTC類似薬の使用が必要な患者もいる。

自己負担増から治療が必要な患者の受診控えなどによる症状悪化や、薬剤の適正使用に困難をもたらし、受療権を侵害する事態を招くことは断じてあってはならない。（後略）

この意見者は賛成5反対8で否決されました。残念です。

OTC類似薬が保険給付から外れることによる患者負担増

	病院で処方されるOTC類似薬の価格	市販薬の価格
アレルギー性鼻炎	アレジオン錠 20 160円	アレジオン 20 2000円
去痰剤	ムコダイン錠 70円	ムコダイン去痰錠 2500円
鎮痛剤	フェルビナクテープ 43円	ビ～エスパン FR テープ 900円
皮膚炎	ヒルドイドクリーム 109円	ヒルドイドソフト軟膏 1400円
皮膚炎	リンデロン軟膏 50 円	リンデロン軟膏 2000円
便秘	マグミット錠 72円	参加マグネシウム 800円
花粉症・ぜんそく	タリオン錠 70円	タリオン AR 1200円